『<u>熊谷の子どもたち</u>は、これができます!』 4 つの実践 アクセル ①朝ごはんをしっかり食べる。

②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。 ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。

④友だちをたくさんつくる。 3 減 運 動 ブレーキ ①テレビの時間を減らします。

②ゲームの時間を減らします。

③スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時 間を減らします。

### 別府小だより

No. 4

平成30年6月29日



学校教育目標

高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成 進んで学習する子 他人を思いやる子 体力・活力のある子

#### 有言実行

~目標を宣言して達成する~

熊谷市立別府小学校長 堀越 尊夫

まだ梅雨明けしていませんが、このところ毎日真夏を思わせる強い日差しが降り注ぎ、プール からは楽しそうな子供たちの歓声が聞こえてきます。先日の授業参観・学級懇談会でも 32 ℃の 暑さの中ご来校いただき、夏休みのことなどもお話し合いいただきましたが、いよいよ前期前半 も残り3週間です。

そんな暑さの中、サッカー・ワールドカップロシア大会も熱く盛り上がり、本校卒業生の原口 元気選手の活躍で別府地区は更にヒートアップしています。ベストなポジションではないかもし れませんが、得意の高速ドリブルで相手ゴールへ鋭く迫ったり、長い距離を駆け戻り、体を張っ た献身的な守備で再三ピンチを救ったりと、まさにピッチを縦横無尽に走り回る原口選手は見る 者を感動させずにはおりません。別府小学校児童356人と職員も書いた横断幕と共に、地域の 期待を一身に担ってロシアの大地で戦っている原口選手は別府小の誇りであり、憧れです。

その原口選手は、小学生の頃、既に今のようにプロサッカー選手として世界で活躍することを 「確信」していたそうです。将来こうなりたいという夢や希望ではなく、そうなるんだという強 い信念を持ち、そのために今なすべきことを自分に課していたそうです。6年生の卒業アルバム にも、「やったぞ6連覇」と題して、校内マラソン大会で狙い通り6年間すべて1位をとったこ とが綴られています。偉大な先輩はしっかり目標を見据え、そこへ向かって努力し続けた人でし た。私は、原口元気選手は「有言実行」の人であると思います。

個人的には目標などを口に出したり、ああだこうだと能書きを述べたりせずに実行に移す「不 言実行」が私の美学ではありますが、ほとんど挫折しています。どうしても「まあ、いいか。」 「今日は暑いから(忙しいから、疲れたから…)、後にしよう。」と言い訳を作って、結局中途 半端で終わることが多くありました。最近は、目標を口に出してそれを達成させる「有言実行」 にしようと思っています。

これからの長い夏休み、何の目標もなくただ過ごしていると、あっという間に無駄に過ぎてし まいます。「自主勉強を毎日○分は必ずやる。」「ラジオ体操や学校のプールに毎回参加」「読書 は毎日○○ページ」「家のお手伝いを毎日する。」などと宣言したり掲示したりして、周囲の人 にもわかるようにすることも大事だと思います。弱い自分に負けないだけでなく、周りの方々か らの温かい支援もいただけるかもしれません。自分の強い意志と周囲の方々の支えによって何か をやり遂げ、ひと回り大きく成長できるような夏休みを過ごしてくれることを願っています。

これから暑さの本番を迎えますが、夏休みまでの3週間も健康・安全に気をつけて、「あいさ つ・そうじ・ろう下歩行」がきちんとでき、学力をしっかり身に付けて終われるよう指導してま いります。

## 天候の急変に伴う児童の留め置きについて

先日もありましたが、7月は大気が不安定となり天候が急変することが増えると思います。今 後、天候の急変が児童の下校時刻と重なった場合、児童を学校に留め置き、安全が確認されたら、 下校となります。場合によっては、保護者の方に引き取りをお願いすることも考えられます。御 協力をお願いいたします。

天候急変時の対応 (天気の様子[積乱雲 雷鳴 雷光 降雨]、インターネットの気象情報によ 児童を下校させることが危険と判断した場合)

①メール配信(児童の留め置き) 安全が確認できるまで児童 を留め置くことをお知らせ する。

教室で待機する 児童は

②保護者への児童の 引き渡し(場合による) 迎えに来られた 保護者に児童を 引き渡す

#### |③メール配信(地区別下校)及び 地区別下校

安全が確認されたら学校に留め 置きしている児童を地区別に担 当職員が引率して下校させる

# 夏季休業中の熱中症への対応について

夏季休業中にプール開放や図書室開放等で児童が学校にいるときに、熱中症指数が「5・危険」 となった場合、児童を室内で待機させます。(プール指導は打ち切ります)。また、児童が歩いて 下校するのは熱中症の危険があるため、保護者の方へお迎えに来ていただくようメール配信しま す。迎えが来るまでは学校に留め置きます。